関大

発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　金田雅一
電話 06 (388) 1121代表
振替口座大阪3—55594番

桜も鮮やかスプリングフェスティバル

総会やOB懇親会など
校友ファミリーの一日

千里山キャンパスは、まさに春らんまん。「確かめよう青春　深めよう友情　高めよう母校愛—」をスローガンに、校友会は四月十日の日曜日、母校の協力を得て年中行事の「'88スプリングフェスティバル〜桜の母校によっといデー〜」を開催した。集まった校友・家族は昨年を上回る約六千人。東は東京、千葉、西は鹿児島など遠隔地からも参加した。三回目を迎えた今年は、工学部の創設30周年・工業技術研究所設立25周年の記念行事、文学部英文学科創立六十周年記念総会も開催され、大学の配慮により教室を使用するなど、支部・同期会・ゼミ会・クラブOB会等十八団体の総会・懇親会なども開かれた。校友・家族は「源氏物語の世界」特別展示、インド祇園精舎跡発掘調査のパネル特別展などを見学、応援団の演舞・演奏に合わせて懐しい学歌、学生歌、遠遥歌などを大合唱、茶道部現役学生のおてまえで、茶菓のもてなしを受け、花の下で弁当をひろげたり、楽しく有意義な一日をすごした。

桜の下でゼミOB会の懇親会

久井理事長、大西学長、樫本会長らもスタンドで応援団の演舞に合わせて拍手

咲きしぶっていたサクラは、この日、パット開いてちょうど見ごろ。空はぬけるように青く、ポカポカ陽気で絶好のお花見日和。キャンパスは朝からはなやいだ空気に包まれていた。

総合図書館前の受付テントには樫本信雄校友会長をはじめ、校友会本部役員、事務局員が待機した。ことし一番乗りの八尾支部顧問、椎尾晋太郎氏（8大法）は「毎年きているが、ことしは工学部の記念行事で、施設も見学できるというので愉しみにしていた」。

福山からきた松浦則義氏（35学1経）菊田晴中氏（41学工管）の二人は「はじめて参加しました。うれしくて昨晩はねられなかった。変わりましたな—」と総合図書館を見上げる。

各所で感激の握手

十時の受付開始から校友家族はどんどん増えてきた。十時半に行事開催の工学部関係者の出足はよかった。応援団の歓迎演舞もはじまる。

「やあ！久しぶりだな—元気か？」感激の握手をかわす校友・家族連れも多い。伊丹支部の会員は支部旗をかかげて図書館をバックに記念撮影。

参加者は、受付でブログラムとリボンを受取って、思い思いにキャンパスに散って行く。

総合図書館一階展示室では「源氏物語の世界」特別展示があり、桜がさね、やなぎがさねなどあでやかな天然染色の絹地が見学者をひきつけた。旧図書館（簡文館）にある考古学等資料室では、インド仏教遺跡・祇園精舎跡発掘調査の貴重な写真パネル、重要文化財を含む収蔵の資料が人気を集めた。

桜は満開直前

キャンパス内約千本の桜は、ちょうど満開直前。花の色あいもよく、最高の眺めどころ。大学院前の芝生には、紅白のマクを張りめぐらし、緋もうせんを敷いた床几が置かれ、茶道部員が野点の接待。訪れた校友・家族にはオウスとお菓子が配られた。

特別講堂では「関西大学創立一〇〇周年記念映画」と「母校創立一〇〇周年記念校友総会ビデオ」が上映された。

正午から第一グラウンドでセレモニーが催された。スタンドを埋めた校友・家族、学校関係者に樫本校友会長は「一〇〇周年の記念行事としてはじめられたこのフェスティバルは、校友会の年中行事として定着し、母校の桜咲くこのよい季節に、お互の健康を祝しあい、友情を深め、母校愛を高めることになる。この催しは母校の全面的協力と、学生諸君の支援を得ており心から感謝します」とあいさつ。

続いて久井忠雄理事長は「よくお帰りになりました。我々は母校を関西大学とするという一点で凝集している。他人であって他人でない。母校の状況を目でたしかめ、一日、ゆっくりしていただきたい」と歓迎の言葉を述べ、大西昭男学長は「どのうららかな、抜けるような天気に象徴されるように、関西大学は天のめぐみ、天のときを受けている。みなさんとともに喜びたい」とあいさつ。

このあとアトラクションに移り、応援団が演舞、演奏、バトン演技、吹奏楽部のドリルなどを披露、グラウンドとスタンドが一つになって逍遥歌を合唱するなど感激を味わった。

午後三時、総合図書館前での応援団のさよなら演舞演奏に送られて、参加者は名残り惜しげにキャンパスをあとにした。

▼総会やOB懇親会など　当日、開かれた組織の総会等は次の通り。

電友会OB第一期生会▽工学部超高周波工学研究室同窓会▽英文学科創立六〇周年記念総会▽守谷ゼミ「守交会」懇親会▽中国文化研究同好会懇親会▽飛雲会総会▽経済研究部OB会懇親会▽高槻支部支部会員懇親会▽摂津支部校友の集い▽女子秀麗会幹事会▽相撲部OB練習見学とちゃんこ会▽伊丹支部懇親会▽関西大学五七会懇親会▽拳法部OB会懇親会▽広田ゼミOB会役員会▽安喜ゼミOB会懇親会▽柔道部OB千柔会総会▽全農千陵会懇親会（関連記事・写真2面に掲載）

副会長担務と5部正副部長決まる

校友会の第二回常議員会は三月十六日午後六時から新阪急ビル十二階のレストランパレスで開かれ、副会長三人の担務と各部正副部長が決まった。常議員は総務、事業、広報、組織、財務の五部にそれぞれ十人ずつ分属され、各部部会を開き部長と副部長二人を互選した。

また今年は役員改選期に当たり、予算、決算は六月四日開催の定例代議員会で審議されるため新年度予算についてはその間、前例にしたがい前年度予算の範囲内で暫定的に執行することが承認された。

副会長の担務および五部の正副部長つぎの通り。

【副会長の担務】総務部篠原昭三▽事業、財務部畑下辰典▽広報、組織部徳山喜昭

【総務部】部長　山本守昭（28学2商、前財務部長税理士）▽副部長　倉永悦雄（31学1経、前総務部員㈱トーメン管理サービス）、永見英次（29学2法、前組織部員、前豊中市企画部長）

【事業部】部長　上原洋允（32学1法、前事業部長、弁護士）▽副部長　植田喜一（29学2経、前事業部員司法書士）、岡田誠一（34学1商、前事業部副部長、㈱オカダ代表取締役）

【広報部】部長　一軸浩幸（33学1法、前広報部副部長、弁護士）▽副部長　泉田康視（29学2新、前広報部員、大阪府議会史編纂主幹）、伴　義孝（38学1商、前広報部副部長、関西大学文学部教授）

【組織部】部長　宝田重幸（34学1法、前組織部長、関西化成㈱取締役社長）▽副部長　神戸善弘（33学2経、前組織部副部長、永和商事㈱専務取締役）、坂本悠貴雄（31院修英文学専攻教授）

【財務部】部長　上田高愼（25学2商、公認会計士）▽副部長　木村　功（22専1商、前財務部副部長、公認会計士）、橋本栄次（30学1商、前財務部員、㈱はしもと取締役社長）

山本　守昭氏

上原　洋允氏

一軸　浩幸氏

宝田　重幸氏

上田　高愼氏

副会長の略歴

篠原昭三氏（29院修公）校友会広報、総務両部長を歴任、前副会長。関西大学創立一〇〇周年記念事業計画委員会委員、同記念事業募金常任委員。元大阪府庁五七会会長、八尾支部相談役。公認会計士、税理士で「非上場会社の株式評価」の著書もある。法人評議員は35年10月1日からで、財政副委員長のあと43年10月1日〜47年9月30日、47年10月1日〜51年9月30日理事、51年10月1日〜55年9月30日監事、現在は財政委員長。

徳山喜昭氏（29学1商）校友会元組織部長、前総務部長。関西大学創立一〇〇周年記念事業計画委員会委員、同記念事業募金常任委員、関西大学教育後援会長、同名誉会長、第一高等学校父兄会会長、同後援会会長、第一中学校PTA会長を歴任、現在関西大学千寿会副会長、飛鳥文学講座振興会顧問、応援団OB千成会副会長、関西大学応援団OB会長、第一新生会代表、雄吼会、関甲クラブ副会長を務せた。関西大学政治学会会長、関西同組織を軌道に乗世話人で同組織懇談会代表関大自治体職域懇談会代表道サービス㈱代表取締役社長を経て、4月1日付で㈶大阪府泉北センター理事長に就任した。

畑下辰典氏（27学2経）校友会財務、事業、組織の各部長を歴任、関西大学創立一〇〇周年記念事業計画委員会委員、同記念事業募金常任委員、校友会の一〇〇周年特別委員長としても活躍、前監事。校友会評議員。現在、人事委員会副委員長。大阪府南河内府民センター所長から泉北鉄道サービス㈱代表取締役社長を経て、4月1日付で㈶大阪府泉北センター理事長に就任した。

畑下辰典氏（27学2経）校友会財務、事業、組織の各部長を歴任、関西大学創立一〇〇周年記念事業計画委員会委員、同記念事業募金常任委員、校友会の一〇〇周年特別委員長としても活躍、前監事。校友会評議員。現在、人事委員会副委員長。大阪府南河内府民センター所長から泉北鉄道サービス㈱代表取締役社長を経て、4月1日付で㈶大阪府泉北センター理事長に就任した。

篠原昭三氏（29院修公）校友会広報、総務両部長を歴任、前副会長。関西大学創立一〇〇周年記念事業計画委員会委員、同記念事業募金常任委員。元大阪府庁五七会会長、八尾支部相談役。公認会計士、税理士で「非上場会社の株式評価」の著書もある。法人評議員は35年10月1日からで、財政副委員長のあと43年10月1日〜47年9月30日、47年10月1日〜51年9月30日理事、51年10月1日〜55年9月30日監事、現在は財政委員長。

600人が参加して交歓
工学部30周年記念式典
工技研25周年

四月十日、工学部創設三十周年及び工業技術研究所設立二十五周年記念式典が、第四学舎工学部一〇八教室で午前十時半から正午まで開催された。記念式典は、学長、理事長、校友会長、教育後援会長をはじめとする来賓・教職員・卒業生をまじえ約三百名が出席、田中工学部事務長の司会で挙行された。午後からは関連行事として、校友会主催スプリングフェスティバルへの参加・工学部交歓会・工業技術研究所交歓会が開催され、約六百名が参加した。

記念式典の開会にあたり谷口敬一郎工学部長から、工学部創設ならびに発展のために尽力された多くの方々、学内外の支援を頂いた方々に対する感謝の意が述べられ、故人の霊に対して黙祷を捧げた。また工学部が天の加護・地の利・人の和に恵まれて発展を遂げたことに感謝し、三十周年を迎えた今日、初心忘るべからずの精神で洋々たる前途にむかって身を引き締めて努力したい旨の挨拶があった。続いて杉原清工業技術研究所長から、研究所の四半世紀におよぶ歴史はまさにわが国工業技術発展の基礎を築いた時期にあたり、今後ますます必要となる基礎的学際的研究に対して研究所の果たすべき役割は大きく、気を引き締めて取り組みたいとの挨拶があった。

大西昭男学長は、三十年前における工学部の発足について、それまで文科系学部しかもたなかった関西大学に理科系学部を加えた総合大学としての巨歩を踏み出した意義の大きさ、難しい創業にあたった人達に対する賛辞、関大第二世紀に向けての牽引車として工学部の今後の青写真・絵図面を作成し、明日への夢を育み実行して欲しいとの祝辞があった。久井忠雄理事長から、工学部創設にあたっては、年齢五十三歳の専務理事として、法人白川朋吉理事長にかわって財政面を担当、教学面では当時の板橋菊松商学部長の紹介で田中晋輔初代工学部長を電気倶楽部に訪問したことなどの懐古談、工学部の今後の努力への期待がのべられた。

樫本信雄校友会長は発足当初の工学部学生達は場所も狭く充分な設備も無い天六学舎で学んだが、工学部生であるという誇りを以て頑張り、卒業して校友となったのちにも目覚ましい活躍をしていると賛辞があった。

最後に創設当初から教授として着任、現職最長老の小川雅弥教授による記念講演「工学部のできたころ」があった。着任早々、第一期生募集のための入試実施、天六学舎での講義、地下実験室・机も椅子もない地下教授室に始まり、無いものずくしのスタート。機械・電気・化学・金属の四学科で始まった工学部を現在の十学科にまで増設するまでの苦労話。昭和三十八年の二学科増設のときにいずれの学科を増設するべきか、熱心のあまり昼から始めた会議が夜を徹して朝まで議論され、暁の教授会となったときの話。昭和四十二年、電子・土木・建築のコンセンサスが得られず、全学的決断は森川学長個人の決断にゆだねられた話などが懐古談として語られた。

式典終了後、工業技術研究所賛助員会では、賛助員会会長挨拶の後、来賓の理事長、校友会長、工学部長、工技研所長により樽酒の蓋が割られ、懇親会が開催された。

また工学部では、午後二時から四時までの予定で各学科ごとに教室等を利用した交歓会を開催した。交歓会の内容は学科ごとに独自企画されたもので、いずれも学科の特徴を示した楽しいものであった。久し振りの再会に新しい出会いに別れを惜しみつつ五時前に散会した。

（T・F記）

英文学科創立60周年
現旧スタッフと同窓が総会

「四月は残酷きわまる月だ」とT・S・エリオットは言うが、四月十日、英文学科創立六十周年記念総会（同窓会）当日は、その例外の一日であっただろう。

佐保姫の春の車もわたるかと思われるほどに晴れわたった空の下、いわば還暦を迎えた英文学科の、現旧スタッフおよび卒業生諸兄姉のつどいは、六十人が参加、つぎの三部に分けて行われた。

第一部（11時30分〜1時）は、堀、角田、吉田、三宅川ら名誉教授と松本元教授および現スタッフが合同研究室に顔をそろえ、懇談を交えつつ昼食を共にした。

第二部（1時〜3時）は法文学舎一二六教室で行われた。これは「回顧と展望」という話題で、諸先生や卒業生のスピーチを頂く予定のものであった。

この部は坂本武教授の司会で始められ、まず、英文学科代表として坂本（悠）教授が挨拶に立ちJ・メイスフィールドやR・バーンズの詩を織り込んだ英文学的学科現況報告があった。

ついで、超多忙の中、寸暇をさいて出席された大西学長は、時流に抗して良識を守るべき英文学科の伝統を、大学の生命の清澄な源泉にたとえ、現在と未来に向かっての学科のあるべき姿についての述べられた。

堀先生は、昭和三年以来英文学科の全歴史の創始者目撃者として興味深いエピソードを紹介されると共に、今時とも体制に束縛・左右されない自由の精神を堅持すべきことを穏かに説かれた。

角田先生は、昭和八年以来の関大人として豊富な話題をお持ちであるが、主として、戦前・戦中・戦後の関大転変事情をユーモラスに話された。

吉田先生は、四十年前に堀先生から吉田先生に宛てられた書信の封筒を示され、当時から現在に至る両先生の学縁および関大とC自身の厚く長い縁について静かに語られた。

三宅川先生は、非常勤を含め前後四十年に及ぶ英文学科との関係や現旧諸事情について所感を述べられると共に、同窓会行事の重要性を強調された。

松本先生は、御在職中から現在にかけて、なお専門および趣味の両域にわたってお元気に御活躍の様子を仔細にお話し頂いた。

英文学会代表樋口教授の挨拶で第二部を閉じ、第三部懇親会（3時〜4時30分）が第二会議室で行われた。ここにはワインや紅茶などが用意され、久しぶりに顔を合わせた人達の間で談笑がはずんだ。多田教授や卒業生のスピーチを交えてなごやかに進行した懇親会のしめくくりは、メイキン教授の英語による名演説。そして、星野教授の指揮によるAuld Lang Syneの斉唱であった。

（Y・S記）

網干教授らが帰国
祇園精舎跡第二次調査隊

関西大学創立一〇〇周年記念事業として、母校がインド政府考古調査局（ASI）と共同して行っている「祇園精舎跡」調査の関大隊派遣調査隊（隊長・網干善教文学部教授ら九人）が二次発掘調査を終え、三月二十四日帰国した。

調査隊は今回の調査により、遺跡の西北部と思われる地点から、紀元一世紀の貯水池（修行僧の沐浴用の人工池とみられる）、四〜五世紀の仏塔跡、僧院跡、仏頭など広大な仏教遺跡を裏付ける数々の遺物を発掘、「祇園精舎跡に間違いないという確信を得た」としている。

この調査は当初、二次調査で終了する予定であったが、継続的な発掘調査、出土遺物の整理などの作業が必要なため、大学では派遣調査隊の現地派遣を一年間延長、六十三年度に第三次発掘調査を実施することを決めている。

（詳細は次号）

松原藤由名誉教授逝く

関西大学名誉教授（元法人理事）松原藤由氏は四月二日午後七時五十五分、心不全のため死去、七十四歳。喪主は平賀友康氏。

松原氏は昭和十年三月関西大学専門部英文科、十四年三月同経商学部経済科卒業、専攻は経済政策論、経済学博士。専門部学生部長、経済学部長、大学院経済研究科長、法人理事などの要職を歴任した。五十九年四月一日、名誉教授。「経済政策の展開と産業構造」などの著書がある。

第4回支部対抗 親睦ゴルフ大会
6月16日・オレンジシガCCで

とき　六月十六日（木）

ところ　オレンジシガカントリークラブ（滋賀県甲賀郡信楽町宮町字桧谷1000）

競技方法　18ホールストロークプレイ（ローカルルール適用）・新ペリア方式採用（競技委員長、ゴルフ場支配人委任）

表彰団体戦…上位五位まで入賞（各支部上位四人のネット合計により決定）

個人戦…上位十五位まで入賞。飛賞あり。

表彰式　競技終了後、クラブ食堂で成績発表ならびに懇親会。

参加費　六千円（ゴルフ場での支払いは各自負担＝プレイフィ一万円）参加費のうち千円は一〇〇周年募金として寄付します。

申込方法　一支部四人以上、先着順一六〇人で締切。最終五月三十日必着で校友会事務局まで。

個人での申し込みも歓迎。但し、支部として四人に満たない場合は個人戦のみの参加となります。

支部相互の交流と会員の親睦をはかる催しとして、昭和六十年来実施している母校創立一〇〇周年記念事業協賛の「支部対抗親睦ゴルフ大会」を、本年も左記要項で開催します。雄大な自然にひろがるコースを舞台に、校友会長杯（団体戦）、理事長杯（個人戦）を目指し、併せて親睦の実をあげていただきたく、多数の校友の参加をお願いします。

蓑の雫

浪速商人の戒めの一つに「自家商品に手をつけるな」という言葉がある。主人が番頭の意思を無視して商品をさばいてはならぬ、ということ。資本と経営を峻別せよという思想。特に女性従業員に対して、雇用主として不当な圧力を行使してはならぬ、という戒めであると聞いた▼その秩序が乱れてきた。新聞の自社企画行事の誇大宣伝。会社の上司とOLとのスキャンダル。それらを苦々しく思っている筆者が、校友会広報関係者について、この欄でとりあげることは、大阪商人の教えにそむき禁を破ることではあるが、〝凡人の浅慮〟との批判を甘受してペンを進めたい▼春四月。入学、就職、人事異動、人生転機のシーズンである。三年任期の校友会代議員、常議員の改選も終わり、新役員でのスプリング・フェスティバルの祭典も、春光と紺碧の空の下、桜花賑う千里丘上で繰り展げられた。〝春来れば路傍の石も光あり（虚子）〟千里山の風物が校友の胸に光りを投じた一日であった▼この日のために「報いられることを期待することなき献身」をもって尽力された旧役員、先人への遺徳と感謝の念を忘れてはなるまい。本務に専念するため役員を辞退されたS氏もその一人である。〝校友のための、校友による、校友の新聞を目指して、寝食を忘れての六年間の健闘であった。〝校友からの反響、紙面への毀誉褒貶。関心への高まりという確かな手応えが出てきた▼「関大」新聞は、あくまでも校友会の機関紙である。時として議論を闘わすときもあろうが、母校という共通の土俵の上で、阿ねることなく、これからも君子の交わりを続けたいと思う。S氏を送って又も虚子の句が浮んだ。〝春風や闘志新たに丘に立つ〟

内外国特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
電話　大阪(四ツ橋交差点西角地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣)〇六(五三一)七四三一(代)
国際テレックス　〇五二五一五九〇五 TSIPOL
ファックス　〇六(五三一)七四三五

新しい包装文化をひらく
ザ・パック

70年の歴史に支えられたハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama KATANO 1918
株式会社カタノ
〒541 大阪市東区北浜3丁目39番地
北浜カタノビル1F
☎(06)231-0565〜7
近鉄百貨店紳士服特選お誂えコーナー
上本町店・枚方店・奈良店・橿原店

ダイヤモンドのことなら……
70年の信頼
心斎橋の輝く宝石"ツルヤ"でお選び下さい
時計　宝石　眼鏡
心斎橋 ツルヤ
(06)211−1024

独創力の竹中です。
高品質をめざす、独自の発想と技術。
創業1610年
TAKENAKA
竹中工務店
〒541 大阪市東区本町4丁目27　TEL 06(252)1201
〒104 東京都中央区銀座8丁目21-1　TEL 03(542)7100

ゆかしい特選陶器
京・清水焼
朝日堂
〒605 京都市東山区清水一丁目280
電話 (075) 531−2181
代表取締役　淺井國勝（S.45卒）

さまざまの事おもひ出す桜かな　芭蕉

今年も青春讃歌の丘で

キャンパスに拾うあの声、この声

「関大前」を降りると桜並木も装いをこらして〝おかえりなさい〟と語りかけてきた。

OBとそのファミリーが今年も北から南から千里山に集まってきた。故郷の丘に帰ってきた。あのキラキラと輝く青春の讃歌をかなでた丘に。キャンパスをめぐってのあの声、この声の紙上録音のご紹介（敬称略）

✿✿✿

鑓尾豪雄（7大法・呉支部長、弁護士）

呉駅を今朝六時四十二分に乗って、家内を連れてやってきた。何歳？　明治四十年生れだよ。春の千里山はいいね。（美しい奥さんと同行。若者をしのぐかくしゃくたる足どりだ）

……✿……

岩本忠史（49工、奥村組勤務、旭支部）

今年は工学部三十周年。前田ゼミで材料力学をやってました。毎年夫婦で来ています。長女の有加は乳母車で初参加です。（ご家庭きわめて円満。）

……✿……

尾原淳夫（14専2商、伊丹支部長）

校友会伊丹支部旗をかついで支部ぐるみでやってきた。図書館をバックに記念撮影。卒業後半世紀がもうすぐです。（来年で五〇年お元気でご活躍を。）

……✿……

荻野正一（12専2英、東京支部長、ユタカKK社長）

外務省勤務で、終戦時は青島総領事館にいた。僕のインヴィジブル・キャピタルは語学だ。これを活かして八重洲の角で貿易関係大手の代理店をやっている。（頭を使う仕事で若さを発散している。校友異色の存在）

……✿……

早川茂蔵（24大経、全国農業協同組合連合会千陵会、茨木市住）

各地からの仲間七人との懇親会だ。後輩が地元で市長選に出ているから、まず友人と顔を合わせ、それから支援の投票だ。（先輩はありがたい）

……✿……

紀井昭三（34学1商、東支部、レグナント紳士服KK社長）

長女が高校二年生。関大進学を希望しているので入試チャレンジへの家族揃っての下見です。ここで大学生活を送らせたいですね。

（有美子ちゃんガンバレ・千里山は君を待っている）

……✿……

柯武徳（工・四回生、台湾出身）

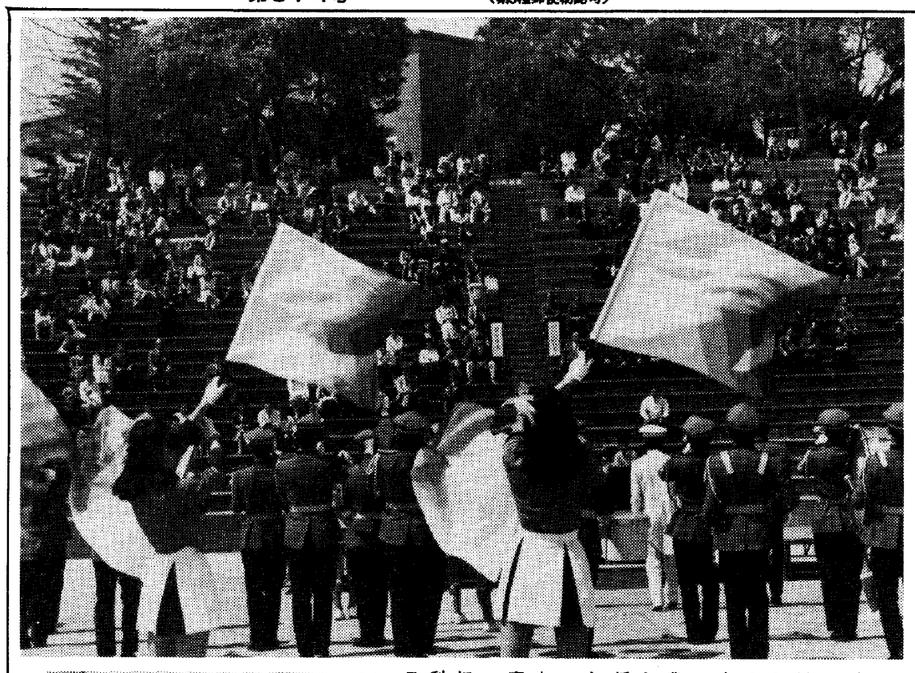
留学生同窓会グループで招待を受けました。今年で学部を卒業しさらに大学院へ進み、母国に帰れば土木関係のコンサルタントなどをしたいと考えています。（円高に屈せず、研讃の日を楽しんで下さい）

……✿……

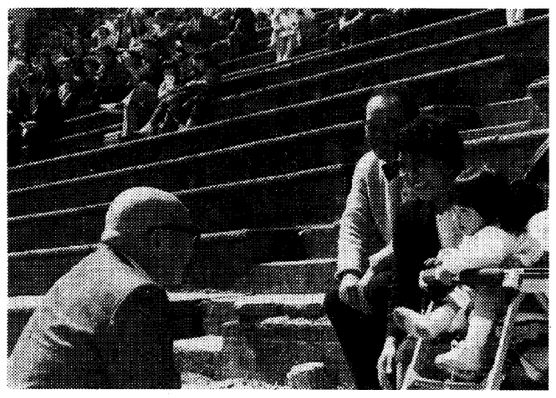
本林茂（51学1商・大正支部、本林タイルKK）

いい天気ですね。良章（長男・一年四カ月）も上機嫌です。乳母車でゆっくりとキャンバスをまわるつもりです。（卒業してひとまわりの年。御家族でゆるりご清遊を）

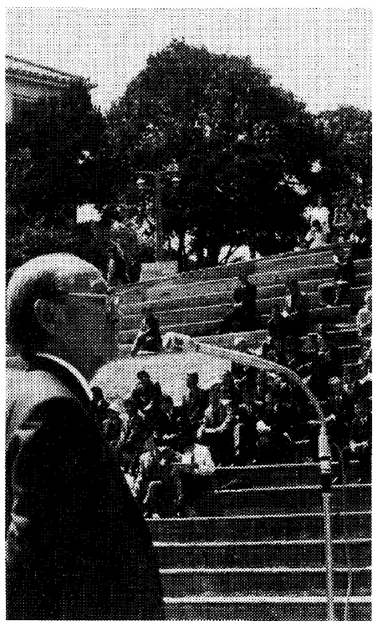
広報部　泉田康視



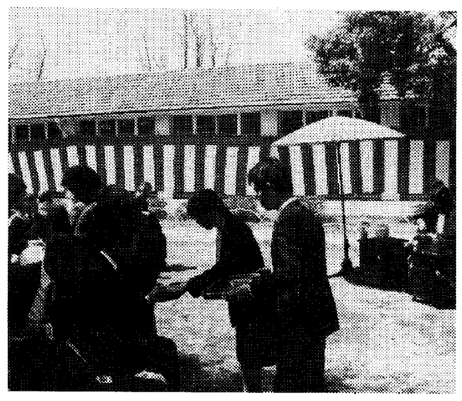
（上）総合図書館前の受付
（左）吹奏楽部の華やかなドリル



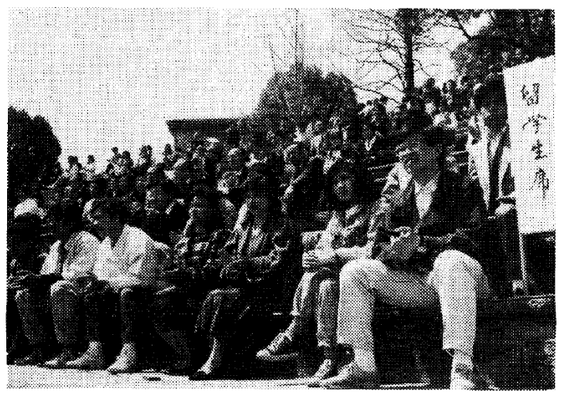
「ヤァー。よくおいでになりました」と久井理事長



第一グラウンドであいさつする樫本会長



現役茶道部員のお茶の接待を受ける校友・家族



留学生も招待されて一日を楽しんだ

和気あいあいの議事進行

参加組織

☆**電友会OB会第一期生会**　四十人が参加、電気工学科交歓会と合同で行われた。

工学部三十周年は自分らの歴史である。関大を卒業し、現在、社会で相当な力を発揮しているのは、母校のおかげである――交歓会の司会は平根喜久教授。有安富雄教授のあいさつ、教員の紹介があり、片山佐一、太田義一、金田弥吉および今西茂の諸先生から思い出話があった。

話の内容としては①基礎的な勉強が役に立っている。②外国の技術者・研究者を教育して国際化社会に貢献している。③引き抜かれる程の実力者になること。④努力の上に努力してガンバルこと。⑤勤の働く人になること。⑥チャンスが来たら間に合う人になること。⑦自分の子供を大事にするように卒業生をより大事にしてほしいなど。

出席者の中には関大を卒業して良かった、二十六年ぶりに第一グラウンドの応援団の演舞を見て、涙が流れたという感激の言葉もあった。（37年卒　沢　勲）

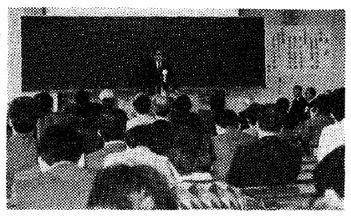
☆**超高周波工学研究室同窓会**　スプリングフェスティバル、工学部30周年記念祝賀会に参加した電子工学科超高周波工学研究室のOBが研究室に集まり、森田正信教授を囲んで旧交を温めた。参加は十一人。研究室内で同窓会を開くのは昭和五十六年度校友総会のとき（新研究棟）に次いで二回目（第3実験棟）。

今回は研究室創設初期のOBが多く母校の近況に話がはずんだ。研究室の見学、写真撮影の後、再会を約して散会した。（I記）

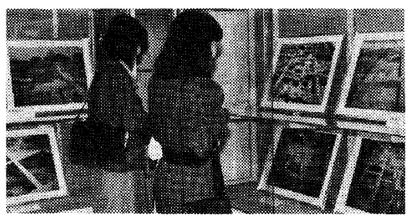
☆**守交会懇談会**　経済学部守谷ゼミOB会の守交会は、当日懇親会を開催。出席者は守谷教授はもちろん、顧問の明山さんをはじめ、現役ゼミ生含め十数人。前田幹事長の乾杯の音頭で始まり、自己紹介もあり、近況報告や世間話に花を、三時ごろ散会した。（古賀記）

☆**中国文化研究同好OB・OG会**　マージャン狂のグループではなく、歴とした中国語と中国文化を研究する会であり、夏と秋の合宿で現役と卒業生との交歓が行われ、この三年間はそれ以外に連続して年次会を開催したにもかかわらず、二十数人が参加し、西川和男OBの本学専任教員就任を祝った。

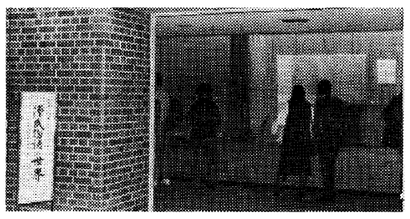
なお本会OB・OG会の顧問に芝田稔名誉教授、会長に井本道春氏、事務局長に西川和男氏にそれぞれ内定し、今後の発展を期すとともに、中国文学科校友会の充実・発展に寄与するように努力しようとしている。（鳥井克之記）



工学部の記念式典



考古学等資料室の展示



「源氏物語の世界」特別展示

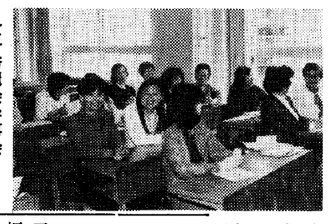
☆**飛雲会総会**　桜花の下母校教室に集合、茶の接待を受け、昼食を共にしながら旧交を温めた。今年は特に、創会十五周年に当るため、岡山より若林氏の参加を得て第三十回の記念総会を今秋（日時近く決定）岡山地区で、瀬戸大橋の観光を兼ね開催を決定する等、話題は多岐にわたり、話は尽きることがなかった。

昼食後考古学資料室を見学、母校応援団のアトラクションを聞きながら、今秋の再会を約し解散した。参加者　若林勇、西脇吉幸、山下徳次、樋口嘉一郎、富田淑郎、浮穴国男。

英文学科記念総会

☆**経済研究部OB会懇親会**　フェスティバルにOB、現役の交歓をかねて三十人が参加した。第二学舎二〇七教室が経研OB会の会場。この教室は松井清先生（京大教授）の国際経済論を受けた教室であるとか、荒井政治経済学部教授（経研OB）の経済史特殊問題の講義を受けた教室であるとか、大変なつかしく、にぎやかな幹事会が開催できた。

正午から第一グラウンドで斉唱した学歌、学生歌、逍遥歌は、OBのほとんどの参加者が感涙にむせぶほど感動的なひとときであり、なつかしい学舎のいたるところアカデミズムの香気溢るる雰囲気が、参加者をしてふるいたつような感激をおぼえ、来年の再会を約して散会した。



女子秀麗会幹事会

☆**高槻支部懇談会**　校友デー参加を兼ねて、支部役員を含めての会員懇親会を催したところ二十人の参加を得た。桜花のもとでの学内諸行事（大学院前芝生での野点、考古学資料館、グラウンドでの催し、総合図書館等の見学など）に久しぶりに参加し、出席者一同大いに満足…。このあと学生気分にかえり、生協食堂内の指定カ所でセルフサービスの昼食をとる。食事前に一同、缶ビールで乾杯。

昼食後懇談会を開き支部活性化のための種々の意見が出された。終わりに六十三年度の支部総会期日を七月中旬頃に設定することになった。決定次第本紙でも予告します、今回の総会は役員改選の件もあるので多くの参加を希っている。

☆**摂津支部各地区役員懇親会**　正午、校門参集、早速、第一グランドでの行事に参加し、校友会長、理事長、学長の歓迎の挨拶が桜花の中で行われ、応援団の演舞、演奏、学歌、逍遥歌等時間のすぎるを忘れてのセレモニーであった。その後、学生食堂で、学生時代の懐しい話が続き、限られた時間を超えて他の催しには残念ながら出られなかった。

その後、キャンバス内を散策しながら帰途につき、心安らかな一日であった。久井理事長のごあいさつにあった「国籍は変わっても母校は変わらない」との一言は、心に残った。（児玉記）

毎年の集い誓い合う

☆**女子秀麗会幹事会**　スプリングフェスティバルに便乗して、女子秀麗会幹事会を開催した。定刻に集まった者、会長以下わずか数人、皆、桜に浮かれて遅れはしゃぎ「ちょっとお茶席行った？」「いやあ知らんかった残念」「〇〇君久しぶり出会ったけどお老けたネェ」等自らを省りみずかしましいこと。それでも二十人。いつもの役員会にない家族連れの参加もあって和気あいあいのうちに議事進行。結婚相談所パーティー、会報発行、63年度総会等の議案を精力的に検討議決し、次期幹事会の日程を定めて三時閉会。らんまんの桜の下での記念撮影も終え「スプリングフェスティバルに幹事会しょう」を相言葉に散会した。

各教室の廊下には特製のごみ箱も整い、校友会広報部の取材撮影も行き届いて感謝の一日でした。もっと多くの校友会組織が利用されることをおすすめ致します。

なお結婚総合相談所会員の吉田憲治次氏（53院修機）が美しいフィアンセをともなって、工学部の出席をかねて女子秀麗会の幹事会に顔を出し、役員一同のあたたかい激励の拍手をあびた。

☆**相撲部OB練習見学**　今日はOBの方が来られるというのでチャンコ鍋の味付を念入りにやりました。（現役主将の談）

練習を見てもらうため若いOBも一緒に十一時から正午まで汗を流しました。（監督、コーチ談）

正午過ぎからチャンコ鍋の囲りに、昭和十年組から昭和六十年組の世代を超えた人の輪ができた。話の内容はそのまま関西大学の歴史である。昭和二十年組の先輩は今年春に経済学部に入学した子息と一緒に来られた。東京からの先輩、現在司法試験勉強中の先輩。あのときは一番しんどかったと楽しそうに苦労話をする先輩。今年参加してくれた二人の新入学生。関西大学の話のあるところ常に人の和有りの一日であった。

チャンコ鍋をつついて楽しい交歓

☆**伊丹支部懇親会**　阪急伊丹駅九時集会。夫婦ずれ、子どもずれ、当日の快晴のように皆にこやか。やがて支部心づくしの紙バッグが配られる。その中にはビール、ジュース、お好み二袋と気がきいている。

「関大前」南口から下車。緑茂る坂を上る。やがて建つであろう百周年記念館の位置を話し合う。関大会館前を通って社会学部学舎の桜は今が満開。緑の樹々を背景に最高の見頃である。

正門受付へ。天幕の下で多数の役員、受付の女性がにこやかに迎えて下さる。団体は伊丹支部がトップのようである。早速、図書館をバックに記念写真をとる。まず落着こうと経商学舎二階に行く。各支部、各同好の控室が万端用意されている。伊丹支部室へ全員落着く。総勢二十余人。

では、キャンバス内花見へ。紅白の幕の中で、静なる花見のひとときである。

三々五々、桜の下を散策する。馬術練習中の馬場に来る。先輩の八十余歳の甲川巌（昭7）、浜田實（昭8）はキャプテンと昔を懐しく語り合う。ついに浜田は老体をかえりみず馬上の人となる。

やがて、簡文館の考古学資料展室に来る。時刻は十一時四十分。グラウンドから学歌のメロディが流れてくる。歳の勢か、胸にグッと響く。伊丹支部総勢、グラウンドのスタンドへ。ここで紺碧の大空と、キャンパスの桜と、やがて展開するフェスティバル行事を眺めながら野外昼食会となる。（尾原記）

☆**五七会懇親会**　千里山を巣立って三十六年、久し振りに桜の母校を訪ねた。第三回校友デーとして同期会からの案内によるものである。約一時間、総合図書館、工学部三十周年記念の小川雅弥教授の講演会にも顔を出した。同期の今井弘教授に会えた。

正午から、グラウンドの樫本会長、久井理事長、大西学長の話を石段上から同期の渡辺夫妻、役員の畑下君とともに聞かせて貰った。一度に青春がよみがえってきた。会えた五七会の同期生は少なかったが、母校の発展を目のあたりにして感慨一しおであった。（石田記）

☆**廣田ゼミOB会懇親会**　廣田ゼミの桜の下でのOB会も重要な年中行事となった。余り集まりすぎてもとの配慮から、十二期生以後のOB会に限定したが、それでも三十一人のOBが集まり、遠くは東京や松江からかけつけてくれた人、また夫婦で四カ月の赤ちゃんをつれて参加してくれた人もあり、大盛況であった。

桜のほころぶ草っ原に車座になり、ビールで乾杯をし、女子OBの心のこもった手料理や弁当をつつきながら、学生時代のゼミ生活の思い出を語り合いながら楽しい一時を過した。

☆**全農千陵会懇親会**　農業協同組合連合会の職域会である全農千陵会は、全国組織のため大阪支所に勤務する会員を主体に七人が集まって懇親会を開いた。同会は、三十年近くの歴史があり定期的に開催しているわけではないが、今回のフェスティバルに参加して大いに感動。毎年この行事に参加することを決めた。

母校は、すべての原点であることを久しく忘れていたようだ。すばらしい懇親会であった。

楽しませた応援団の歓迎演舞

新支部長に田中幸雄氏

姫路支部総会

校友会姫路支部の総会が三月二十五日午後六時から姫路商工会議所内の清交クラブで、大橋教学部長、徳山校友会副会長、金田事務局長、神戸支部上田幹事長、東播支部清川幹事らを来賓に迎え、約五十人が出席して盛大に開かれた。

来賓の祝辞に続いて議事に入り、役員改選で三十年間にわたり地区校友をリードしてきた滝利幸支部長が退任、新支部長に田中幸雄氏（29学1商）が選ばれた。

前支部長に感謝の記念品を贈った。滝氏は「自分の人生の半分は関西大学と共に過ごした」となつかしく、誇りをもって喜びを語り、これからは会員として総会にいつまでも出席できることを楽しみにしていると結んだ。懇親会では、自己紹介や和やかに懇談、逍遥歌を合唱して閉会した。

田中支部長は「来年は姫路市制一〇〇周年になる。その桜の花の時節に総会ができることを希望している」と述べている。

……◇……

半世紀を支部活動につくされた**滝利幸氏**（10専2法）

昭和十七年、田中吉次支部長とコンビで副支部長をつとめられ、三十三年十二月十四日、支部の運営に情熱をそそがれ、母校の創立七十年、八十年、九十年、百年の節目を共にすごされた。

常に支部校友の先頭に立ってリーダシップを発揮、母校・校友会の太いパイプをつくっていただいた。校友会の支部の活動はこうあるべき、と校友会を支えていただき、この半世紀、母校の大きな楠の樹のような存在だった。いつまでも姫路支部に滝さんの姿があることを願って、感謝でいっぱいです。

（校友会副会長　徳山喜昭）

おそばのおいしいお店、
家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば　家族亭
関西店　阪急三番街/ウメダ地下街/阪急32番街/ナビオ阪急/難波攻橋筋/ミナミ地下街/南OSプラザ/地下鉄住之江終点/江坂東急ビル/府道茨木警察北/高槻松坂屋/阪急川西能勢/阪神/阪急四ヨ/西宮門戸/陸橋西/阪急三宮駅西口/神戸ポートアイランド/摩高島屋/D.Dハウス/阪急池田駅2F/守口京阪百貨店/角田町(ナビオ東)
東京店　有楽町/渋谷/蒲田/池袋/新宿/荻窪/大森/北千住/八王子/川崎/日比谷
横浜店　ヨコハマルミネ　浦和店　伊勢丹
津田沼店　イトーヨーカドー　新潟店　伊勢丹
札幌店　丸井今井本店　浜松店　松菱

新宴会場オープン
支部総会・記念パーティーに。
千里阪急ホテル
地下鉄千里中央駅前　TEL(06)872-2211

雄大な海岸美　緑豊かな山々
山陰の旅情＼香住海岸
新鮮な海・山の幸を料理！　懇親旅行、ゼミ旅行などお気軽にご利用下さい（海水浴の予約受付中/早目にどうぞ）
◆豊富な海の幸荒磯料理
◆高級和牛のふるさと但馬牛料理
◆冬の味覚かに料理（11月初～3月下旬）
その他ご予算に応じて料理致します。
山陰海岸国立公園（運輸省国際観光民宿）
海辺の宿　はまかぜ荘
香住生まれのOB宿院　寿彦（36学1商卒）
ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL.07963-6-0773（香住駅から車で4分）
〒669-65　兵庫県城崎郡香住町下浜

営業科目
陶磁器部・機械器具部
工事部（耐酸工事・タイル工事・サッシ工事・外）
公害防止機器並に装置・設備工事の斡旋及び其他関連事業
貸ビル・貸マンション
ヤノシゲ株式会社
取締役社長　矢野文雄
大阪市北区西天満六―八―二　ヤノシゲビル
電話（364）一〇五一番（代表）

就職あっせん
決断するは今！　転職・就職の好機。
全国6,700社からなる優良中堅企業の組織
タナベイーグルクラブを中心に、全国主要企業にご紹介
昭和43年以来20年近い豊富な紹介経験
●各職種求人多数あり
事務系　貿易・営業・企画・開発・総務・労務・経理・コンピュータなど
技術系　電子・電気・化学・機械・土木・建築・生産・設計・SEなど
●ご登録・ご相談の秘密は絶対厳守します
●費用は一切不要です
●35歳位までが有利ですが、40～50歳台の求人もあります。
★まずお電話ください。（歴送・ご来社も可）詳細お打ち合わせします。年中受付（平日19時迄　日祝土17時迄）
求人も常時受け付けております。
★急募求人の一例

業種	規模	職種又は経験	年令	給与	地域
和装製品・呉服製品製造卸	中堅	営業	35才位迄	550万円	京都
土木建設資材商社	中堅	営業・経理	35才位迄	550万円	大阪
金属螺旋管製造販売	中堅	経理部長・技術部長	45才位迄	面談	大阪
土木建設用コンピュータプログラムの開発・販売	中堅	土木技術者システム開発技術者	35才位迄	600万円	大阪
特殊表面処理剤製造販売	中堅	品質管理の管理職	40才位迄	576万円	明石
精密電子機器製造	大手	営業・技術開発・IC設計	35才位迄	2ヵナモデル450万円	大阪
家庭電気器具製造販売	堅実	財務管理者	35才位迄	450万円	香港
各種電気・電子測定器・OA機器類レンタル・リース業	大手	経理・SEプログラマー	40才位迄	30才500万円	東京大阪
食品化工・理化学用機械製造	堅実	設計部長	50才位迄	700万円	奈良
化学工業	中堅	市場開発・調査	45才位迄	720万円	東京大阪

タナベ エリート・バンク
労働大臣許可　経営管理者・科学技術者紹介所No.27・コサ・4
〒564　大阪・吹田市江の木町17-10（タナベ経営ビル）
☎06(338)3451　担当　田村・栗本・小菅（こすが）

非鉄金属販売
保井金属株式会社
取締役社長　保井剛一
本社　大阪市南区松屋町六―三
電話〇六(762)五四二一(代)
FAX〇六(762)八一四六
東京出張所　東京都千代田区内神田一丁目八ノ一一（東京保井ビル）
電話〇三(293)七二〇二(294)六七七六

初志忘るべからず

学長式辞

62年度の新学士巣立つ

六十二年度の学部卒業式は三月十九日に行われ、四千八百十一人の新学士が巣立っていった。

千里山学舎では、午前十時から第一部の文、経済、社会の各学部、午後一時から法、商、工の各学部の式が行われた。また天六学舎では、午後五時半から第二部の法、文、経済、商、社会の全学部が式を挙行した。

大西昭男学長は「初志忘るべからず」と式辞を述べた。

新しく学士の称号を認められたのは、法学部七百八十七人（第1部六百八十一人、第2部百六人）、文学部六百九十八人（各、六百三十人、六十八人）、経済学部七百九十三人（各、七百九人、八十四人）、商学部七百五十六人（各、六百九十二人、六十四人）、社会学部七百十二人（各、六百六十九人、四十三人）、工学部千六十五人。

大学院修了式

六十二年度大学院博士前期課程・修士課程の修士記、博士後期課程の単位修得証書授与式は三月二十三日、千里山学舎・岩崎記念館で行われた。

この日誕生した新修士は百八十二人、単位修得者は二十一人。大西学長の熱情あふれるはなむけの言葉に新修士らは感激いっぱいの面持ちだった。

引き続き関大会館へ場所を移し盛大に謝恩祝賀会が開かれ、打ち解けた雰囲気の下、互いに努力をたたえ合った。和やかに楽しい宴は進み、最後は全員で肩を組み合って逍遥歌を歌い散会した。

（博修士会・畑中公太郎）

後輩たちに胴上げされる卒業生

新関大生が誕生

1・2部の学部入学式

関西大学の学部入学式は四月三日、第一部が千里山学舎で、第二部が天六学舎で行われ、第一部は五千四百八十六人（うち女子学生、千百八十八人）、第二部は四百七十八人（同七十六人）計五千九百六十四人（千二百六十四人）が入学した。

大西昭男学長は式辞で「これからの四年間、何を学ぶのか、いかにして学ぶのか、それは君たちの胸の内の志にかかっている」と述べた。

日系三世のカナダ人、オイカワ・タダオ・ジョーイさん＝商学部＝もこの日、式に出席した。関大アイスホッケ部が一昨年、カナダに遠征した際、対戦した地元高校選抜チームの主将であった縁で関大を受験して合格した。

名誉教授称号

古後、吉村氏に贈る

「関西大学名誉教授」の称号授与式が、四月一日午前十一時から関西大学会館二階来賓室で、大西昭男学長、久井忠雄理事長らが出席して行われた。称号を贈られたのは三月三十一日付で退職の古後楠徳（工学部教授）吉村常雄（同）の両氏。

古後氏は昭和二十七年三月、大阪大学理学部数学科卒業、三十七年、関西大学専任講師、三十八年、助教授、四十五年、教授。

吉村氏は昭和十六年三月京都帝国大学理学部化学科卒業、三十六年、関西大学講師、四十二年、教授。

三代の関大ファミリー

寒川さん、入学式に揃って出席

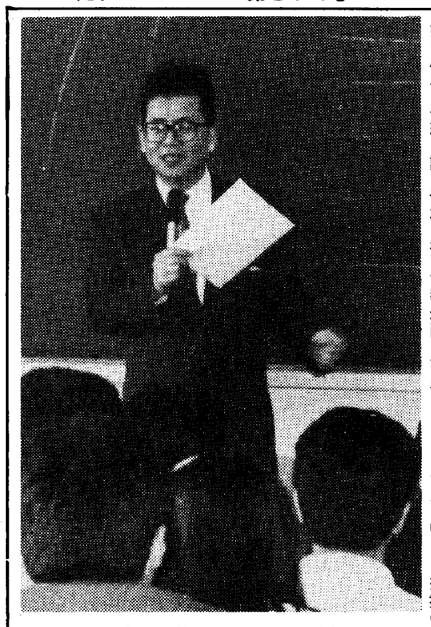
関西大学の入学式は四月三日行われたが、午前中の体育館での式に、親子三代がそろって出席した関大ファミリーがある。

学校法人関西大学顧問、校友会参与、元衆院議員寒川喜一さん（8専1法）と子供の寛文、房枝（34院修公）夫妻、孫の伸子さんの一家四人。この日は伸子さんの＝商学部＝の晴の入学式にお祝いのために参列した。式の後、寒川さんは「式に出て、ほんとによかったというのが実感です」とうれしそうな表情。

房枝さんは「娘の入学式で学歌や逍遥歌が唱和できて感無量でした。学生時代、雄弁会に所属していた私にとってクラブ活動は最高の思い出であり、そこで常に口にしていた『正義を権力から守れ!!』との建学の精神は今も私の中で生き続けております。今、若い後輩の一人である娘に、クラブ活動の素晴らしさと、長い歴史と伝統を誇る母校の良さを語り継ぎます。夫も関大に在学したことがあり、共通の話題を求め合える喜びをかみしめております」と語った。

伸子さんは「素晴らしいキャンパス、多くの新入生の皆さんと共に迎えた入学式、いずれも私にとっては感激でした。常々、祖父や両親から関大の良さを色々と聞いていましたが、今度は自分の目でそれを確かめることができそうです。素敵な友人にめぐり会えることを期待しながら、四年間を一生懸命頑張りたいと思います」と入学の喜びをかみしめていた。

入学式に出席した寒川さん一家



初めて教壇に立った西田講師

国文学講師〝文珍〟さん教壇に

初日はマスコミのサービス

「講師の西田です」―教壇に立ちマイクをもって学生たちに向かった非常勤講師、西田勤氏の第一声である。

千里山第一学舎一号館三〇六教室（二百二十人収容）は、学生とその回りを取り巻いた報道陣で満員。

四月十一日午前九時。売れっ子落語家、桂文珍さんの第一回目の講義である。グレーのダブルの背広姿。「はじめて教壇に立って緊張しています。入ってくるのに、いつものような音がないので、ギクシャクしてネー」と、持参のラジカセでロック音楽をかけて登壇のやり直し。報道陣の要望にこたえて黒板に向かってポーズをつけたり、学生の間を歩いたり人気タレントらしくサービス満点。

「私はかってこの学校をすべったのです。＝大阪産業大学経営学部卒業＝そのすべった人がここで講義をすることが、面白いわけですネ。しかし、いま私は日本有数の落語家であり…」―どっと笑い声。

関西大学は西田氏を四月一日から一年間、非常勤講師に委嘱した。推薦理由によると、国文学の中には「文学」「語学」「芸能」等の分野があり、芸能史の分野で近世から近代の「日本の話芸」について、独特の蘊蓄の披露を期待している。学生も又、現代マスコミに興味があって、マスコミにおける文化現象についての話も期待しているであろう。

講義科目は文学部国文学科三年次配当の選択科目。

「採点は提出してもらった創作落語の論文を、私が高座でやってみて笑いが多かったら優、あまり受けなかったら良、出席だけしていた人は可……。」本気かどうか、採点方法を説明、報道陣取材時間の十五分間は、まるっきり高座の調子で、笑いの連続。

「さあー報道陣のみなさん、お引き取り下さい。これからが本当の講義です」――。きびしい表情で学生たちに向かった。

企業人から初の客員教授

原田明松下電器産業顧問

関西大学は六十三年度の商学部客員教授として、松下電器産業株式会社常任顧問、原田明氏（%）を招へい、同氏は新学期から「国際経営論」について講義している。

大学では昨年、客員教授規程を改正、「(1)博士の学位を有し、かつ、研究及び教育に関する特に優れた学識経験のある者(2)各界にあって、特に優れた知識及び経験を有し、教育上の能力があると認められる者」を客員教授として招へいすることにし、企業人も対象にすることになった。原田氏は新しい客員教授規定による最初の客員教授である。

同氏は昭和十六年、東京帝国大学法学部卒業、ニューヨーク大学大学院留学、通産省貿易振興局長、通商局長を経て四十六年、松下電器産業に入社。アメリカ松下電器社長や松下電器産業の海外事業担当の専務、副社長を歴任した。

戦後日本経済の最前線を歩き、国際化時代における通商政策面や企業経営のあり方などについて、豊かな体験と知識を生かして毎週一回講義する。

講義概要は(1)国際化、技術革新、情報化、ソフト化等、経済社会の世界的変動に即応し、(2)人類の進歩と幸福に貢献し得る国際国家日本の経済人として(3)必要な基礎的考え方と行動様式を体得するため(4)実践的経験をベースに、学生と共に研究する。

関大人事

―教育職員―

▼退職　3月31日付

〈停年▽文学部教授　伊地智善継▽工学部教授　古後楠徳、村上陽太郎、吉村常雄▽第一高等学校教諭　木村昌三

〈依願退職▽文学部教授　内山勝利▽工学部専任講師　伊藤孝子▽工学部副手　窪田安一

▼任用　4月1日付

文学部教授　伊藤正文、乾　裕幸、本山幸彦▽工学部教授　栗栖　忠、高松武一郎▽商学部助教授　廣瀬幹好▽工学部助教授　丸茂弘幸▽文学部専任講師　西川和男▽経済学部専任講師　渡邊美智子▽商学部専任講師　荒木孝治▽工学部助手　前田　裕▽第一高等学校教諭　第一中学校兼務　鍵本嘉紀、笹部信治

▼昇任　4月1日付

▽教授（法学部）市川訓敏、千藤洋三（文学部）小川静代、玉田勝郎、野浪嗣生、平田　渡、松浦　章、鷲田清一（経済学部）吉田達雄（社会学部）岩見和彦、木村洋一（工学部）小幡　斉、大内辰郎、大場謙吉、八尾眞太郎

▽助教授（文学部）福井七子、松村暢隆、森　孝子（商学部）陶山計介、三谷　真（社会学部）雨宮俊彦、柴田　満（工学部）小田廣和、越智光一、辰巳正和

▽専任講師（工学部）阿波啓造、木村寿夫、田村進、田村裕、中尾和祺、長谷川喜衛、福村隆志、藤井和成　4月1日付

▼補職　4月1日付

就職部長　教授　佐藤　博

工業技術研究所長　教授　杉原　清

法学研究所長　教授　中　義勝

教職課程研究センター所長　教授　右島洋介

大学院社会学研究科長　教授　橋本　真

大学院工学研究科長　教授　森田正信

第一高等学校長兼第一中学校長　教諭　西岡　宸

第一高等学校教頭　教諭　長尾　宏

第一中学校教頭　教諭　田中正憲

―事務職員―

▼退職　3月31日付

〈停年▽就職部　森　浩志▽総務局　山口辰男▽年史資料編集室　佐伯博臣▽第一高等学校事務室　堀内庄右衛門▽総務局　山口清二▽総務課　中村アヤ子▽工業技術研究所事務室　鷲尾　登

〈依願退職▽総務課　木田直子▽工学部事務室　川瀬理恵▽逐次刊行物課　坂田賀子▽総務課　倉石初美

▼異動　4月1日付

企画室長兼出版部長　中山義一▽就職部次長　村山弘▽企画室年史資料編集課長　大場義之

総会を開催

大阪家事調停委員関大会

大阪家事調停委員関大会は、昨年末校友会本部より職域会としての認定を受けてから初の総会を二月二十四日、天満橋キャッスルホテル内の錦城閣で開催した。

校友会本部から樫本会長、藤本事務局次長を来賓として迎え、辻本幹事（25大法）の司会で第一部の議事は簡潔に済ませ、卓を囲んでの和やかな第二部の祝宴に入った。

この会は大阪家庭裁判所に所属する家事調停委員の校友で組織し総勢三十二人。法科の関大だけあって弁護士が多く（十一人）仕事の関係でなかなか全員の顔が揃わず、当日も十五人という淋しい出席であったが、役目柄、日頃の調停の苦心談など語り合い、実のある宴会となった。

弓庭晴男会長（16臨大法）が音頭取りとなり、学歌、学生歌、応援歌の合唱はじまるや、ぐっと盛り上り、お互いに肩を組んでの逍遥歌で締めくくり、長老の村井貞雄氏（S16臨大法）の発声で、母校の万歳を三唱し閉会した。（高田　明記）

新支部長に長谷川裕氏

備後支部総会

備後支部は三月二十二日午前十一時から、福山市良縁閣スカイワードで校友会本部から徳山副会長、藤本事務局次長を迎え、会員二十五人が出席して総会を開催した。

今回は役員の改選を行い、新支部長に長谷川裕弁護士（28学1法）を選んだ。前支部長、赤松千代史赤新工業会長（23専1商）は、支部長として十八年間支部発展のために尽し、母校に対する愛情を備後支部の活動として注いだ。同氏に感謝状と記念品を贈呈した。今後は支部顧問として指導のほどをお願いした。

長谷川裕新支部長は、福山市弁護士会会長の要職にもついた活動家で、また母校に対する情熱も強い。早速写真入り名簿発刊と、来年度支部総会は十月一日（月曜日）に開催すると決定した。

第二部の懇親会、カラオケ大会では豪華賞品が渡された。特別出演の徳山副会長による関西大音頭は、学生時代を思い出して懐しかった。最後に逍遥歌で総会の幕を閉じた。

主な新役員は次のとおり。

支部長　長谷川裕▽副支部長　高田義幸（27学1経）▽副山美徳（34学1経）▽代表幹事　菊田晴中（41学工管）　（菊田晴中記）

……◇……

支部長二十年間のご活躍

備後支部第四代の**赤松千代史氏**（23専1商）

昭和十四年結成の歴史ある支部の支部長として、海運界で活躍され勲三等瑞宝章をご受賞の八百村　稔支部長（13大経）から四十五年五月二十二日に引き継がれて以来、今日まで校友会活動にその名をとどめる歴史ある支部を運営されてきた。そのお人柄には、支部総会でお目にかかることができた。

さすがに過去、神戸正雄、岩崎卯一、森川太郎の各学長が講演されただけの立派な支部である。今後は八百村さんと共に、支部に母校に、なお一層のお力添えをおねがいし、ますますのご健勝を祈って感謝の意を表します。

（校友会副会長　徳山喜昭）

清交社理事長に久井忠雄氏

法人清交社理事会

社団法人清交社は二月十七日開いた六十三年度第三回理事会で、新理事長に久井忠雄氏（学校法人関西大学理事長）を選任した。

清交社は六月一日、創立六十五周年を迎える由緒あるクラブで、社員は約千六百人。社員の親睦をはかり、社会的、文化的活動を行い、公益に寄与することを目的としている。

二氏が博士号取得

大塚　忠経済学部教授は一月十四日付で、慶応義塾大学の経済学博士号を取得した。論文は「労使関係史論―ドイツ第二帝政期における対立的労使関係の諸相」。

葉賀　弘文学部助教授は二月二十六日付で、京都府立医科大学の博士号を取得した。論文は「うつ病チェックリスト（KDCL）の作成とその臨床的応用に関する研究」。

お知らせ

◇**校友会京都支部総会**

（兼　新支部長に坂上守男京都新聞社社長を推せん議（?!）「私の誕生日にやったらどぉー」。保井支部長「西村はん　誕生日いつや?」「三月十一日です。当日賀宴発しますょー!」

西宮支部の新行事

ゴルフコンペ誕生

当然あって不思議ではなかった支部懇親ゴルフコンペ。ヒョンなきっかけから実現した。

昨年の暮れ忘年会の盛り上がった宴席で、酒の肴にゴルフ談義をしているうちに、西村寿美子さんから動かぬ証拠を突きつけられ、「ゴルフ場へ行こう」と誘われ、「行く行く」と言う会話が実現した。

当日は天候に恵まれ、春一番の風にドライバーショットを乗せる人、久し振りの会話にスコアーを乱す人…。楽しく親睦の実を上げることができ、支部活性化のカンフル剤になった。そのうえ遠来のビジターとして女子秀麗会、片山久江副会長も参加、充実したコンペチションができた。

表彰式を兼ねた懇親会で、保井支部長は継続行事として毎年春の訪れと共に開催したいと発言。

今回は芦屋カントリー倶楽部で開催、参加者三十人、オブザーバー、宮崎幹大副支部長、西谷孝幸幹事、西村寿美子女子秀麗会副会長

支部長杯　三沢恒次郎69・2▽2位　梅本　勲▽3位　片山　啓▽当日賞（西村寿美子寄贈杯）保井剛一支部長

（西宮支部事務局）

5年ぶりのゴルフコンペ

予科有終会

予科有終会（昭和二十三年予科修了）は第九回目のゴルフ会を五年振りに四月六日オレンジ・シガ・カントリークラブで行った。参加者は二十九人（ゴルフ会員数九十五人）。久し振りの旧友と再会し陽春の光まぶしいフェアーウエーに白球に打ち興じ、プレーと懇親の席での予科時代の数々の思い出話で信楽の一日を心行くまで楽しみ、次回ゴルフ会を十一月八日、ライオンズカントリークラブで行う事を決定した。

優勝西尾康▽準優勝藤田昇▽三位元木Ⅲ（三木記）

吹奏楽部が3年連続優勝

全日本大会クラリネット

関西大学応援団吹奏楽部のクラリネットパートは、三月二十日、広島厚生年金会館で行われた第十一回全日本アンサンブルコンテスト大学の部で優勝、金賞を獲得した。大阪、関西の各大会を経て、十団体出場の全国大会に関西代表として参加した。同パートは同大会で三年連続して金賞を獲得した。

35年の木造秀麗寮に幕

国際交流寮に新生へ謝恩会

千里山キャンパス外苑に昭和二十八年開設以来、木造二階建の由緒ある学生寮として約千三百人の有為な人材を輩出した秀麗寮が、来年四月オープンをめざし留学生・日本学生ペア寮として建てかえられることになった。

新しく生まれ変わる秀麗寮の更なる発展と大学関係者の支援に感謝して、秀麗寮寮委員会主催による謝恩会が三月二十日午前十一時半から寮ホールで開催された。

学歌斉唱で開会、小川学生部長の挨拶があり、寮の歴史が紹介された。大西学長、久井理事長の挨拶につづき、設立当初より十四年間にわたり家族と共に寮生の指導と世話にあたった元舎監鉄井良男氏（元就職部次長）の挨拶があり、秀麗寮の「友愛の精神」と寮出身者の社会における活躍ぶりが紹介された。

寮出身者で結成する寮士会関係者代表の挨拶で、五年前の三十周年記念総会時に将来の建替資金の一助にでもなれば、と寄付された金一封が早くも実現のはこびとなったお礼があり、今後の発展に協力する誓いがあった。

在寮生代表の挨拶、稲野副理事長らの挨拶につづき、二十二年間のながきにわたり寮生達の一日三食の世話をした長田有多子さんに在寮生より感謝の花束が送られた。懇親会席上、三月十二日に寮士会々員らが全国各地から百余人が同ホールに集い、在寮生と共に旧き良き建物に別れを惜しんだことが披露された。

寮歌・逍遥歌の斉唱と関西大学の発展を祈念して万歳三唱で散会した。

（寮士会々長　清水英俊記）

寮ホールで盛大に催された謝恩会

素朴な海辺の旅情
丹後　久美浜
懇親旅行、家族旅行、ゼミ旅行、クラブ合宿など、お気軽にご利用下さい。
―推選　法学部教授、拳法部顧問　堀　堅士先生―
生うに料理（1年中）
カニ料理（11月中旬～3月下旬）
カキ料理（11月中旬～3月下旬）
●その他ご予算に応じて料理いたします。
小天橋温泉（展望風呂完成）
山陰海岸国立公園　旅館小天橋
平井善次郎（31年法学部卒）
■ご予約・お問い合わせは
☎(07728)3－0371(代)
京都府久美浜町湊宮（湊大橋手前）

全国仲人連合会結婚相談所
―関大卒業生は入会金無料―
579東大阪市本町4-3　☎0729-86-0002
566摂津市千里丘2-9-34　☎06-388-8092
大谷　杲（29学1経卒）

豊かなくらしに住まいの装飾
ブライダル家具から室内外設計・改装工事まで、みなさまの"住まいの相談役"としてご愛顧下さいませ。
●日本全国どこからでもお電話下さい。係員がお伺いし、親身になってご相談に応じます。
●ご注文の際は、本広告をお示し下さい。
株式会社
山城屋家具装飾店
・日本インテリアデザイナー協会正会員　・日本室内設計士会会員
・インテリアアドバイザー加盟店　・建設業許可番号-京第55018号
本店　豊中市本町1丁目3番2号
TEL(06)854－2251(代)
能川　夏代(旧姓山下・昭42学1新卒)

制禦盤配電盤製作・計装工事
共栄電器工業株式会社
取締役社長　柳楽喜祐
本　社　〒660 尼崎市杭瀬北町1丁目16番1号
電話大阪(481)8807～0番(代表)・(489)3041番
東京営業所　〒177 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
及工場　電話東京(904)1521番

クルマのあり方をつきつめたら、こうなった。
なによりもコロナ。

より深く、セダンの本流
新CORONA誕生
ソアラ・マークⅡ・コロナ・コルサ
神戸トヨペット
本社　神戸市兵庫区水木通2丁目1番1号　☎576-5001

最高の設備(プラス)＋すぐれた技術　これが今日の当社の信用を築き　優秀な製品を生みだしています
超高速の
オフセット輪転機
新聞輪転機が稼動！
■業界専門紙誌
■社内報　■官庁関係公報
■チラシ・カタログ　■特に大量の印刷物
第一印刷出版株式会社
本　社　大阪市福島区福島7丁目13番1号
電話　大阪(06)458－5871(代表)
新聞工場　大阪市福島区福島7丁目17番18号
電話　大阪(06)451－6871

皇太子殿下とタナゴ研究会

社会学部教授　鉄川精

昭和五十六年東京で開かれた博物館法制定三十周年記念式典で皇太子殿下が、博物館の重要な仕事に資料収集と保管があり、飼育や保護による種の保存が必要とニッポンバラタナゴを例に述べられた。

ニッポンバラタナゴは関西以西に広く分布する日本固有の美しい淡水魚である。近年、中国大陸から移入されたタイリクバラタナゴとの間で天然交雑が進み、純系のニッポンバラタナゴが各地で姿を消している。生息する池沼は次々と埋め立てられ、繁殖に不可欠な産卵母貝のドブガイやイシガイもまた急激に減少しており、日本固有のニッポンバラタナゴは厳しい条件下にあり、絶滅に瀕している。

赤坂御用地内の池をご提供

皇太子殿下はニッポンバラタナゴ純系種保存と保護対策の研究のため、赤坂御用地内の心字池と大土橋池を快く使わせて下された。大阪八尾市の池からニッポンバラタナゴ純系種と産卵母貝のドブガイを御用地内に移殖したがいずれも順調に育ち繁殖しており、不特定の人間が近づけず埋め立ての心配のない池で研究が続けられている。昭和六十一年皇太子殿下のご好意によりニッポンバラタナゴ研究が組織された。関東、近畿の若い研究者らと学識者から構成される。

研究会代表は本学非常勤講師でタナゴ類研究では斯界一の大阪教育大学長田芳和助教授があたり、本学Ⅱ法学部（桜田ゼミ）三十四年卒剣道部OBで本学非常勤講師の清風学園紀平肇教

事務棟応接室で調査打ち合わせ後、各人が作業着に着がえ心字池大土橋池へ行く。途中のテニスコートでテニスを楽しまれている浩宮さまの姿をおみうけする。池ではニッポンバラタナゴとドブガイの生育状況や増殖についてタ方まで調査する。筆者はドブガイの計測値記録を分担。翌日も正午すぎまで各池を調査、応接室に戻り調査結果を整理し服装を整え、研究会打ち合わせと資料整理をする。この時に研究会幹事の東宮職から予め皇太子殿下が質問されそうな事項を聞きチェックする。

生物種の保存問題で
年2回東宮御所で集い

諭も研究会々員である。彼は淡水魚や貝類を研究しており、音楽を除く各教科の免許をもつ頑張り屋である。筆者はその頃、養護の要職にあり多忙であったので昨年から研究会に加えてもらい、四月と十一月に東宮御所で開かれた研究会に出席した。

常陸宮、礼宮さまもご参加

研究会前日に四ツ谷駅に集合し調査器具の入った大きなバッグを肩に東宮御所に向かい、御所内の宮内庁

研究会は皇太子殿下が公務をおえ予定時刻にお帰りになられてから御所内の広間で開かれる。われわれがお待ちしていると皇太子殿下を先頭に常陸宮、礼宮両殿下がお入りになり、皇太子殿下を真中に向かって左に常陸宮、右に礼宮がお立ちになる。出席者紹介後着席し長田代表から研究成果や問題点が披露され、各担当者の報告がある。皇太子殿下は海産ハゼの分類を、常陸宮は魚類の神経生理を研究されておられるので、魚類に関する知識が豊富であるのに驚かされる。皇太子殿下は研究成果を踏まえご自身の意見を述べられつつ座長役として研究会を進行される。

赤坂御用地内に一時避難させたニッポンバラタナゴが繁殖しているので、種保存と生息地確保のため、皇太子殿下が「ニッポンバラタナゴ飼育登録制」をご発案され、これまで十数ヵ所

御用地内の池で繁殖調査

発言を撤回させた。

殿下のお相手言われ大慌て

皇太子殿下は意を決しかねたご様子で、常陸宮、礼宮両殿下はじめ目黒侍従、魚類研究所々員を含む全員の意見を求められ、移殖に適した池であり移殖後の管理が十分にできることを条件にしたいと結論を出された。

昨年は十一月の研究会が最後であったので、日月の間で予定になかった立食の懇談会が催された。目黒侍従から皇太子殿下のお相手をお願いしますと突然告げられ大慌ての態。筆者と本学文学部卒の田村利久氏らた。

との共著「淀川―自然と歴史」を、皇太子殿下、常陸宮、礼宮両殿下はじめ東宮職の皆にさしあげたためかも知れない。

日本酒のグラスを手にした皇太子殿下の側に行くと、本をありがとう読ませていただきますとの言葉に恐縮。これを契機に研究会のこと淀川の自然と保護など貴重な生物種の保存について話しあったが、博学で生物の保護について熱意をもっておられるのを感じた目黒侍従から声をかけられたので何かと思ったら、本学のことであった。本学の歴史が古いことはご存知だったが、他の私学と異なり生物学研究室が社会学部に属する理由や設備などをいろいろ聞かれた。生物学は一般教育であり数物化と若干異なり本学の制度上のことであると答えたが、研究設備は皆無に等しく申し上げにくいので言葉をにごした。全くしんどい。

皇太子殿下は同行した大阪教育大四回生のところへも行かれ、彼らが教員採用試験に落ちたのを耳にされて、採用試験はそんなに難かしいのですかといろいろ質問され、若い学生と話されておられた。

予定時間を二時間も過ぎたが、殿下たちは同業者の集いのため気軽に話されよく笑われ、楽しそうにされていたのが印象的だっ

63年度飛鳥史学文学講座

開催要項、演題講師決まる

昭和六十三年度の飛鳥史学文学講座の開催要項がつぎのように決まった。

場所　明日香村中央公民館
時間　午後一時から三時
申込み連絡先〒564吹田市山手町三―三―三五　関西大学教育後援会内、飛鳥史学文学講座係、06三八八―一一二一内線四六四三　受講料年額三千円（テキスト代を含む）

▽四月十日（終了）　伝祇園精舎跡の第2次発掘―日印共同学術調査の成果―　文学部教授　網干善教
▽五月八日　鎌足秘聞―その経歴詐称に関する疑い―　文学部教授　木下正俊
▽六月五日　初瀬観音と源氏物語　文学部教授　清水好子
▽七月三日　法隆寺「再建非再建論」の周辺―歴史・考古・建築の接点を探る―　工学部教授、山田幸一
▽八月七日　長屋王とその時代―周辺―文学とその時代―　文学部教授　神堀　忍
▽国分寺建立の思想　文学部教授　薗田香融
▽十月二日　西行物語絵巻の世界―出家遁世と大峰入りと―　文学部教授　木下正俊
▽十一月十三日　古代史のなぞの浅説―新出資料をめぐって―文学部教授　有坂隆道
▽十二月十一日　宗法について―中国古代の家族と宗族―　法学部教授　奥村郁三

▽一月八日　白鳳の美　その原点を探る　文学部教授　山岡泰造
▽鳥たちの古代伝承―氏族の出自と鳥子名舞―　文学部教授　上井久義
▽三月十二日　飛鳥と難波を結ぶ大道―竹内街道と長尾街道ほか―　名誉教授　横田健一

おおさか文化セミナー

六十三年度おおさか文化セミナー「おおさか学苑玉手箱」＝関西大学、大阪府立文化情報センター共催＝が次のように開催される。

◇日時　五月十日～六月十四日午後六時半～同八時半まで。
◇会場　大阪府立文化情報センター（住友中之島ビル五階）
◇申込方法　往復はがきで（住所、氏名、年齢、電話番号記入）〒530大阪市北区中之島三丁目、大阪府立文化情報センターへ。定員になり次第締切（先着順）

▽五月十日　南方熊楠の世界　法学部助教授・山野博史
▽五月十七日　石山本願寺の障壁画と狩野元信　文学部教授・山岡泰造
▽五月三十一日　石山合戦の中の霊異譚―『石山退去録』の世界から―　文学部教授・青木　晃
▽六月七日　大阪人の生活文化　社会学部教授・井上　宏
▽六月十四日　長谷川貞信の作品を読む―上方浮世絵のおもしろさ―　文学部教授・肥田晧三

第17回春期吹田市民大学

教養講座

▽関西大学・吹田市教育委員会共催
▽場所　吹田市立千里市民センター3階大ホール（阪急南千里駅下車すぐ）
▽受講資格・定員　一般成人。各コース二百人、受講料無料
▽申し込み方法　往復はがきに住所、氏名（返信用にもあて先を）、年齢、電話番号、希望コース番号を書いて吹田市中央公民館（〒564吹田市出口町4―1市民会館内、電話387―2088）へ。一人で全コース申し込めるが、一枚のはがきに1コース一人分だけ記入のこと。

◇1コース　「生きる力」をどう育てるか―その心理学的基礎―　講義　午前10時20分～午後0時10分
▽5月19日　文学部教授・村尾能成▽6月9日　文学部助教授・松村暢隆▽6月16日　文学部教授・藤井稔▽6月23日　文学部教授・中島　巌▽6月30日　文学部教授・山下栄一▽7月7日　文学部助教授・葉賀　弘▽7月14日　文学部教授・村尾能成
◇2コース　「現代社会の流れを読む」　講義　午後1時20分～午後3時10分
▽5月19日　社会学部教授・広田君美▽6月9日　社会学部助教授・松原一郎▽6月16日　社会学部教授・植條則夫▽6月23日　社会学部教授・田宮　武▽6月30日　社会学部教授・石川　啓▽7月7日　社会学部教授・浅田正雄▽7月14日　社会学部教授・足立利雄
◇3コース　法と政治に問われるもの―現代社会の変容に対応するために―　講義　午前10時20分～午後0時10分
▽5月20日　法学部教授・國府　剛▽6月10日　法学部教授・福瀧博之▽6月17日　法学部教授・岡　徹▽6月24日　法学部助教授・孝忠延夫▽7月1日　法学部教授・中　義勝▽7月8日　法学部助教授・早川眞一郎▽7月15日　法学部教授・上田惟一
◇4コース　経済のソフト化と市民生活―国際的視点をふくめて―　講義　午後1時20分～午後3時10分
▽5月20日　経済学部教授・三谷　真▽7月8日　経済学部教授・市川浩平▽7月15日　商学部教授・廣田司朗

100回迎え記念例会

関西大学経済人クラブ

第一〇〇回を迎えた関西大学経済人クラブ（西村治三郎会長）の記念例会が、三月二十二日午後五時半から、大淀区大淀南のホテルプラザで開かれ、会員・特別参加者など八十余人が出席、二十五年間の歴史を振り返るとともに、今後一層の発展を誓い合った。

法律学校として生まれた関西大学は、経済人が少ないと言われているが、商都大阪には校友の産業人・経済人が相当活躍している筈との趣旨で昭和三十八年十一月発足。年四回の例会では、経済・社会問題などその時々の話題をテーマに講演を聴き、校友経済人の研修と親睦の場として活動してきた。

挨拶に立った西村会長は「最近、他大学でもこうした経済人の集いが持たれているようですが、この記念例会を機に、更なる飛躍を期し、母校の発展に寄与していきたい」と抱負を語った。

なお、第一部例会では、特別に依頼した母校社会学部の広田君美教授から『新人類の心理と指導のあり方―やる気と働きがいを与えるために―』と題する講演を聴き、第二部懇親パーティは、久井理事長の乾杯で開会した。

新刊紹介

木村達也・菊井豊夫ほか編
Q&A　カード・クレジット―消費者のためのトラブル解決法―
全国クレジット・サラ金問題対策協議会刊　一、二〇〇円

消費者問題についての本学出身弁護士の活躍は、本の新刊紹介にもみられるように、広く知られるところである。今回、またまた、校友弁護士たちによって、本書が出版された。編者の木村氏は昭和四十二年、菊井氏は昭和四十六年に、それぞれ本学法学部を卒業し、法曹第一線で活躍中である。

消費者問題は、欠陥商品を中心とする商品の安全性の問題から、契約被害の問題へとその中心を移しつつある。消費者は、現物まがい商法や霊感商法等のようにそれ自体が不当な取引である場合にとどまらず、クレジット取引や訪問販売等においても様々な契約被害に巻き込まれている。

本書の執筆者は、一面で社会的利便性は高いが他面で多数の被害者をもたらしているクレジット取引の問題を共同研究するため、大阪弁護士会所属の弁護士有志で組織されたクレジット研究会のメンバーである。

その執筆者のなかに、右編者の両氏のほかに、小谷英男（昭和四十八年卒）、田中義信（昭和五十年卒）、木村哲也（昭和五十四年卒）、小谷寛子（昭和五十四年卒）の各弁護士を見出すことができる。さらに、編集・執筆には、消費者問題については民法学者の中心的存在である本学法学部沢井裕教授も加わっている。これは、研究と実務との緊密な連携を実らせうる関大の充実した基盤を示すものであり、このような活動の今後の発展が期待される。

本書の入手については、木村達也法律事務所内、全国クレジット・サラ金問題対策協議会（電話〇六・二二一・二〇三一）に問い合わせてください。

（法学部教授・永田真三郎）

中村　穂著
「会社の数字」をつかむ8つの見方
かんき出版　一、二〇〇円

最近小売業では大型店舗化、チェーン化が一段と進行し、経営環境が厳しくなっている。それだけに採算に工夫をこらすことが必要となっている。

採算はとにかく計算を必要とするが、計算や計数はどうも苦手という経営者や店主が案外多い。計算の機構は直観的にわかっていても、その数字が決算書などの形で示されると、初めからもうわからないものと決めてかかる、いわば食わず嫌いな人がけっこういる。本書はそういう人にぜひ読んでほしい。

決算書などでは、重要な項目の数字もさほど重要でない項目の数字も、いわば均一的に羅列的に示されるために、数字アレルギーをおこしてしまうのである。本書で著者の中村氏もいう通り、普通の経営者やサラリーマンは決算書などですべての数字にとらわれる必要はない。重要なものにだけ的をしぼって、ポイントだけをザッと大づかみに知ればいいのである。

問題は的のしぼり方である。本書ではそれを、①売上を伸ばすための視点（儲ける力と成長力のチェック）、②利益を増やすための視点（収益力と生産性のチェック）、③資金繰りを良くするための視点（安全性のチェック）、の三つの大きな視点のもとに、それをさらに八つのポイントに分けて説明している。

たとえば売上高を増やすには、常に売上が数量×単価できまることも忘れず、数量（たとえば得意先数や開店時間数など）は意欲できまるが、単価（たとえば得意先あたりや一日あたりの売上）は工夫できまるから、売上高は意欲×工夫できまると解説している。

著者の中村氏は本学商学部私のゼミナールを昭和三十八年に卒業した今売り出し中の新進経営コンサルタントである。卒業後アパレル卸業に就職後独立して、松下電工や大関酒造などでコンサルタントとして卸売業や小売業の経営指導にあたってきた。これまでの豊富な経験からまとめられた流通業経営のエッセンスを書き下したものが本書である。表や図も多く、実にわかり易い。意欲と工夫に富んだ好著である。経営の計数に少しでも強くなろうと思っているすべての人にすすめたい。なお中村氏は最近本書のいわば姉妹編『経営計画マトリックスチャート集』（かんき出版）を刊行した。あわせてすすめたい。

（商学部教授・大橋昭一）

人事動静

◆校友会副会長、**篠原昭三氏**（29院修公、泉北鉄道サービス会社代表取締役社長）は四月一日付で、財団法人大阪府泉北センター理事長に就任。
◆校友会広報部副部長、**泉田康視氏**（29学2新）は四月一日付で、大阪府議会史編纂主幹、社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会常務理事に就任。
◆校友会伊丹支部副支部長**乾一雄氏**（30学2国、伊丹小学校長）は四月一日付で伊丹市教育長に就任。
◆神戸市立博物館長**井尻昌一氏**（14専2法）は三月三十一日、兵庫県公安委員会で公安委員長に選任された。
◆**八代　豊**雅叙園観光株式会社副社長（18大経）は三月二十四日、同社社長に昇格と発表された。

63年度の資料展示

◇関西大学図書館

▽第13回展示「世界の聖書」五月十六日～六月十八日
▽第14回展示「法律の古書」（仮題）九月二十一日～十月二十二日
▽第十五回展示「科学技術の歴史」（仮題）十一月七日～十二月十日

終身会費納入者芳名

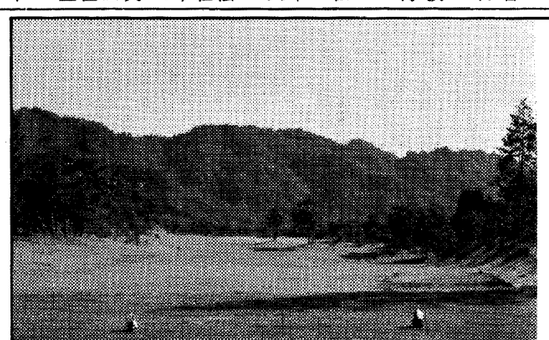
（昭和62年2月1日から63年2月29日受付分まで予納会費による払い込みは除く。順不同、敬称略）

伊集院勉（38学2経）東山徳雄（35学1新）西井栄子（36学2国）郡和世（45学2商）毛利文徳（19大経）三谷憲四郎（38学1商）佐藤洋（53学1経）村上一（30学1経）上野幸利（35学1新）鷲見康夫（22専2経）窪田重留（38学1経）船木貞雄（36学1商）国井邦子（28学1経）村上栄一（52学1法）安原敏夫（40学2経）野村一夫（37学2法）生田芳男（28学2商）豊田嘉彦（15専2商）吉田武雄（42学1法）長田隆造（26学1法）真渓健治（37学1法）当麻嘉英（53学1社）林ケ谷昭太郎（35学2法）土居美郎（31学1法）栄国隆一（54学1経）豊田実正（47学1社）前川清成（60学1法）上辻昇（23大法）幸田一（32学1経）新谷英夫（25学1経）中西康男（31学1新）富田実（22工専）永川豊治郎（25専1法）殿勝宏（32学1新）西羅弥寿治（34学1商）谷後直治（26専1商）大西正彦（35学1法）樋口滋（36学1商）山垣任志（31学1法）片山哲雄（28学1経）浅井幸憲（29学2英）岸重三（27学1経）広野力蔵（30学1史）安井利昭（34学1英）内山勝博（52学工士）大西八一（39学1新）村上英司（35学1商）恩地省吾（31学2経）菅谷晴之（35学2経）豊福恒世（13専2商）重冨敏之（29学2法）福田軍紀（11専2商）山本新吾宏（25学1経）山本雅男（28学1経）厚東肇（56院修子）渡辺茂（60学1商）宮川征四郎（39学工管）福美潔（30学1史）山本雅男（29学1商）

関大、関大一高・一中、幼稚園御用命
特製　学章・校章型著積
和洋御菓子司
株式会社　昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3丁目13―28
（難波府立体育会館南通り公園前）
電話　641―1666（代）
641―6565
FAX　647―6478
常務取締役　山本雅巳
（昭和53年学1法卒）
特別割引券　関大

＊ウーロン茶の最高級品！中国直輸入
特に肥満体質の方に最適
●無農薬・カルシウム465mg/100gが多く、カフェインは微量(0.007)！冷やして飲んでも最高です。
減量　やせたい方
アルカリ飲料　美容健康茶
ウエイトコントロール　味はさわやかマイルド
●ティーバッグ20袋入
●ティーバッグ50袋入
●単品お試し用1袋入
●単品マイルド300g入
中国直茶　楊貴妃
●御求めは全国デパート・薬局・茶店・茶舗・スーパー・酒販店でどうぞ
お問い合わせ……サンプル差し上げます。
中国直輸入総発売元　株式会社タムラ　試供品請求係
大阪市北区芝田2-5-18 商工中金ビル ☎(06)373-2101(代)

プランニングから印刷までをトータルでプロモートする
東洋紙業株式会社
取締役社長　朝日多光
大阪本社：大阪市浪速区芦原1―3
☎(06)567―2111(大代表)〒556
東京本社：東京都品川区南品川6―1
☎(03)450―2111(大代表)〒140
工場：関西/芦原　平野　美原　東大阪
関東/品川　横浜　王子
営業所・関連工場：札幌　名古屋　徳島　広島　九州
営業品目：企画・デザイン　一般印刷　出版印刷
ビジネスフォーム　紙器　特殊印刷


18ホール(6,726ヤード)パー72　(PHOTO 検谷OUT 1番ホール)
交通
●名神高速道路瀬田西I.Cからクルマで25分(約20km)●名阪道路伊賀一の宮I.Cからクルマで35分(約25km)　●国道307号線・枚方より約75分、国道163号線・木津より約50分
日本国際運合協会滋賀県本部指定ゴルフ場
オレンジシガカントリークラブ
質の高いゆとりを育てています。
59年11月オープン以来、3年を経過し、コース状態も抜群。雄大な信楽の自然に広がる気品のあるコースとして、着実に名門の道を歩みつづける
オレンジシガカントリークラブは、プレイや憩いに、質の高いゆとりを育てています。
日頃のご支援に感謝を込めて―校友の皆様に特典
●平日に限り優待料金でプレーできます。
●直接エントリーをお受けします。
氏名、卒業年・学部をお知らせ下さい。
●お申込み・お問合わせは、コース(0748-83-0111)まで。
関西スポーツランド株式会社
■コース　滋賀県甲賀郡信楽町宮町字檜谷1000番　☎0748(83)0111(代)
■大阪事務所　大阪市都島区東野田町2―3―24　☎06(353)2622(代)
(第五京橋ビル5F)

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
新東生コンクリート工業株式会社
取締役社長　赤井常隆
本社　550大阪市西区北堀江一丁目一一八　電話大阪(五三八)代表三六二一～六番
営業所　東京・名古屋・福岡
工場　静岡・川西・神戸